

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	夜間を想定した避難訓練やマニュアル、災害に備えた備品等の整備がされていない。	夜間を想定した避難訓練を実施する。 災害時のマニュアルを作成する。 災害に備えて必要な物品を備蓄する。	夜間火災を想定して夜勤者のみの中で通報、地域住民の協力を得て避難訓練を実施する。あらゆる災害を想定したマニュアルを作成、災害時に活用できるよう勉強会を開催する。災害時に必要な物品を備蓄し、定期的に点検する。	6ヶ月
2	10	モニタリングや計画の見直しが年1回になっている。	利用者の状況や変化に合わせたモニタリングの実施や現状に即した介護計画を作成する。	モニタリングの様式を見直し、モニタリングを行えるように整備する。職員で話し合いチームで利用者の現状に合わせた介護計画を作成する。	6ヶ月
3	8	利用者の知人や友人の訪問が少なく、グループホーム側から積極的な訪問を促していない。	利用者の知人や友人が訪問に来たり、訪問に行ってなじみの関係が継続できる。	これまでのなじみの人や場所との関係が途切れないようこれまでのなじみの関係を把握して入所前からの知人や友人との関係を継続する。	6ヶ月
4		トイレ誘導時の声かけが大きく、他利用者や周りにも聞こえている。	トイレ誘導時、大きな声を出さず、利用者の自尊心や尊厳に配慮する。	利用者のプライバシーや尊厳について職員で勉強会を開催し、自尊心を損ねない対応でトイレ誘導を行う。	6ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。